

## 有事の円高が後退

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

### 有事の円買いの動きは落ち着く

有事には不確実性の高まりから株などリスク資産が売られ、現金が買われる「Cash is King(現金は王様)」の動きが強まる。為替市場では、有事になると特に円が保有資産として好まれる傾向があり、「有事の円買い」と呼ばれる。「有事の円買い」は「円が安全資産であるから」、「海外にあるドル資産を売却して日本国内に戻す動きが強まるから」、など様々な憶測によって解説されることが強いが、多くの世界の投資家が有事には円が強くなるとの思惑で動くことから起こる現象だろう。今回のウクライナ侵攻の局面でも侵攻前、侵攻スタート時のドル円は通説通りの「有事の円買い」に動き、ドル円は114台半ばの円高となった。しかしながら、侵攻リスクを織り込み始めるとドル円は円安に振れ、現時点(2月28日10時45分)時点では115.55円程度である。

### 従来の中期円安トレンドに回復か

ここ数ヶ月のドル円は3月の米FOMCによる利上げ期待でドルが買われる(円安ドル高)動きを強めていた。ロシアによるウクライナ侵攻によって、一時的に円高となったものの、足元のドル円は既に「有事の円買い」を織り込み、従来の中期トレンドである米国の金融正常化の動きを織り込み始めた円安ドル高の動きを強めるとみている。

#### 東京市場マーケットデータ

2022/2/25 現在

日経平均	2万6476円
東証1部売買代金	3兆1752億円
時価総額	684兆7901億円
日経平均予想PER	12.7倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

#### 日経平均パフォーマンス

昨年来高値	3万795円	2021年9月14日
昨年来安値	2万5775円	2022年2月24日

出所: Quick

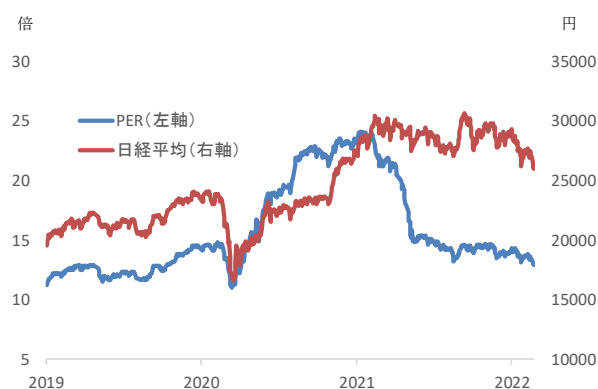
#### 国内株式売買代金ランキング

2022/2/25 現在

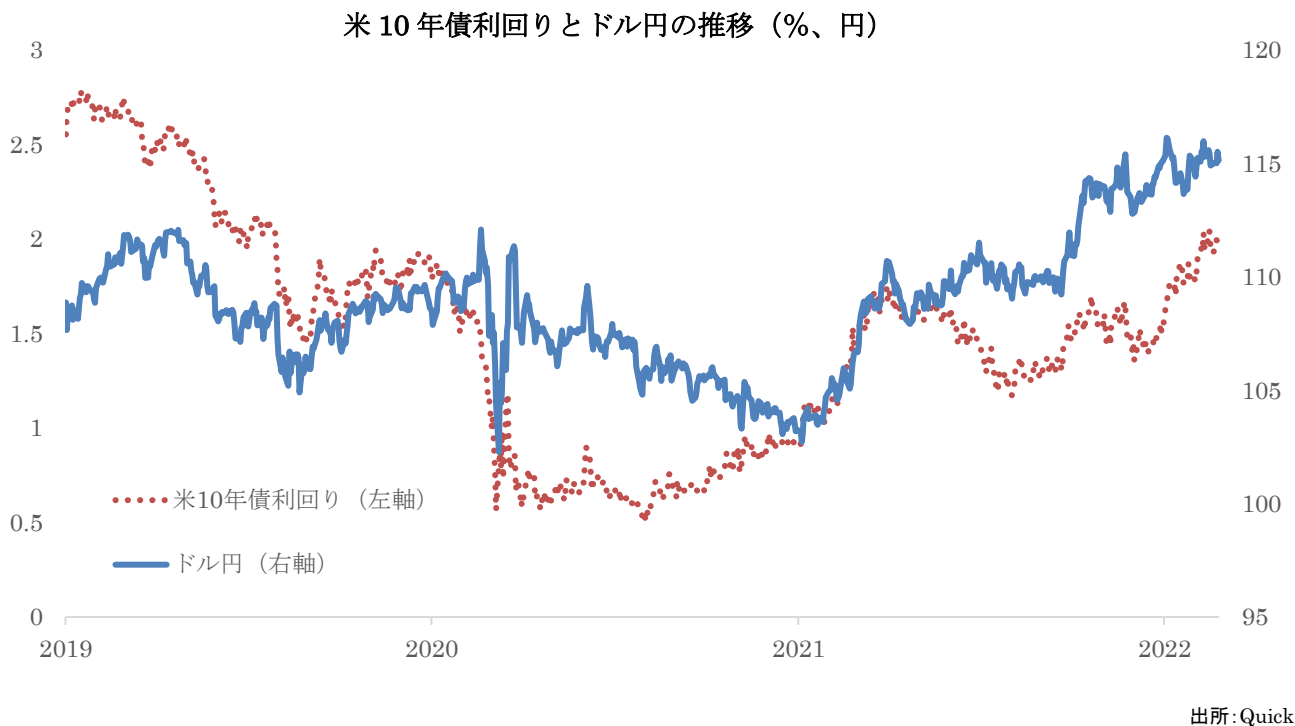
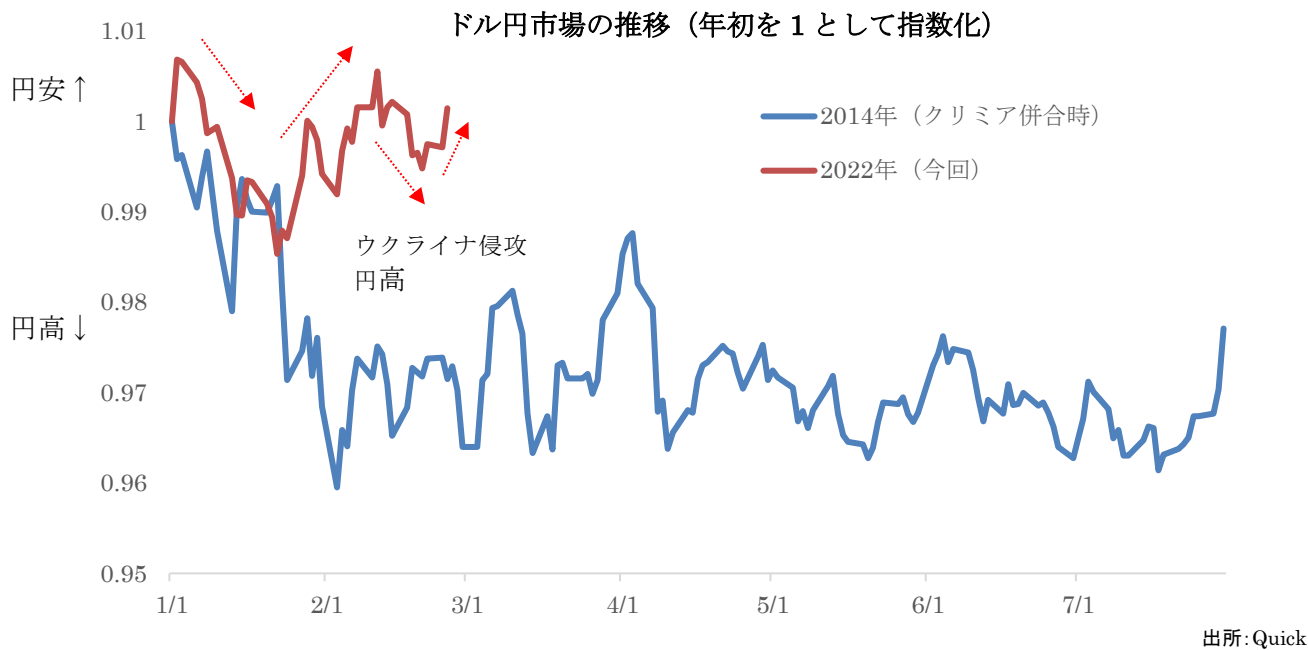
	株価前日比
1 レーザーテック	7.1%
2 日本郵船	4.0%
3 ソフトバンクグループ	5.5%
4 東京エレクトロン	5.7%
5 川崎汽船	7.0%
6 ソニーグループ	3.0%
7 トヨタ	0.6%
8 商船三井	4.7%
9 三菱UFJFG	▼2.1%
10 キーエンス	3.5%

出所: Quick、アイザワ証券作成

#### 日経平均と予想PERの推移



出所: Quick



## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

